

シグマ委員会核データ専門部会
評価用データベースWG 3年度第3回会合議事録

日時 1992年2月4日(火) 13:30~17:30
場所 日本原子力研究所 本部 第2会議室
出席者 五十嵐、浅見(NEDAC)、大澤(近畿大)、神田(九大)、菊池、成田、千葉、
深堀、中川(原研)

配布資料

- DBE-91-13 前回議事録(1991年9月27日)
- DBE-91-14 評価用データベースWG今年度作業と来年度予定(運営委への配布資料)
- DBE-91-15 「IAEA Consultants' Meeting on a "Reference Nuclear Parameter Library for Nuclear Data Computation" (13-15 Nov., 1991)」 Draft Summary Report
- DBE-91-16 $^{56}\text{Fe}(n, p)$ 断面積の誤差(杉本)
- DBE-91-17 ET に関する資料(深堀)
- DBE-91-18 「Prototype of Evaluation Guidance System in Integrated Nuclear Data Evaluation System」(核データ研究会報文集原稿)(深堀)

議 事

1. 前回議事録確認等

前回(1991年 9月 27日)の議事録(DBE-91-13)を確認した。

2. 「IAEA Consultants' Meeting on a "Reference Nuclear Parameter Library for Nuclear Data Computation」について

昨年11月13日~15日にIAEA(ウィーン)で開かれた標記会合に出席した神田氏が、配布資料 DBE-91-15 で、会合の様子を報告した。Parameter library の目的としては、開発途上国の人たちのトレーニングを主目的にしているらしく、特に日本から寄与することは無さそう。ただし、このファイルが完成した後のことはあまり議論されていないようだ。また、ファイル全体を処理することについても議論がない。

3. $^{56}\text{Fe}(n, p)$ 断面積の共分散

$^{56}\text{Fe}(n, p)$ 断面積の共分散を実験データから GMA コードを用いて導く方法に付いてまとめた資料(DBE-91-16)を、杉本氏が欠席のため中川氏が説明した。

先ず、LSSOLVER のワークシートに使用する実験データの情報を格納し、実行して、実験データの pointwise data file を作成する。続いて、DATGMAを実行し a priori data file で与えたエネルギー点毎に実験データをまとめた grid data file を作成する。grid data

file と a priori data file から GMA の入力データファイルを MKGMAINP で作成する。この後、GMA を実行し結果を得る。結果は、LSSOLVER により、作図を行うことができる。

これに対し、LSSOLVER のワークシートの作成方法がわからない、途中で使用する dummy data の相関は 0.0 とした方がよい、等のコメントが出された。

4. 理論計算コードガイダンスシステム

資料 (DBE-91-17、18) と OHP を使って、深堀氏が「理論コードガイダンスシステム ET (Evaluation Tutor)」のプログラム構成、データベース、フレーム、使用例等について説明した。現在は、JENDL-3 の評価に使用された 12 個のコードの情報が入っている。

さらに、理論計算コード WG で作成するコード、核分裂断面積の計算コード等を入れたり、計算結果の検討をする機能も必要との意見があった。

今後は、ET の改良をさらに行うとともに、INDES に組み込んでみることにした。

5. 来年度の予定

評価用データベース (EVLDF)

浅見氏が今年度中に完成する様、努力する。JENDL-3 で使用したパラメータの他に global parameter も必要に応じて格納していく。格納したパラメータのリストを作成する。

INDES

改良を続ける。

共分散ファイルの検討

$^{56}\text{Fe}(n,p)$ 断面積の誤差解析を続ける。この WG は NEANSC の評価国際協力サブグループ No 2 の受け皿でもあるので、一般的な共分散ファイルの作成方法に付いて検討し、JENDL-3 に共分散を与えることは目的としない。

核データ評価のためのエキスパートシステムの作成

これについては岩崎氏から提案されている。テーマについては核データセンターのメンバーと岩崎氏で相談し決めることとした。

6. その他

○次回は、1992年 6月 26日 (金) に東京で開く。

○宿題事項

- 1) EVLDF を完成させる。(浅見氏)
- 2) ET を INDES に組み込む。(深堀氏、中川氏)
- 3) Vonach の共分散決定法について、次回に紹介する。(神田氏)
- 4) 日本原子力研究所大型計算機での GMA の使い方を、次回に紹介する。(千葉氏)